

会長便り

「北光」第150号発行に思う

菊 地 芳 朗 (GS34)



今回は悲しいお知らせから申さなければなりません。前会長の森 泰さんが、去る5月7日にお亡くなりになりました。森さんは全国の支部総会に出席されるなど行動力のあるお方で、北光会の発展に尽くされました。

一方、東日本大震災ですが、2名の会員が津波によりお亡くなりになったことが判明致しました。

お亡くなりになられた方々には、謹んで哀悼の意を表すると共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、皆様をご覧になっているこの「北光」が150号となりました。昭和28年4月6日に1号を発行してから58年で達成されました。

北光会は昭和3年に設立されました。時を同じくして「北光會誌」が発行され、昭和8年からは「北光會報」と名前を変え昭和17年第26号まで発行されました。当時は戦時中のことで用紙の制限や印刷所の都合でこれ以後の発行は困難であったようです。戦後になり第1号を発行した昭和28年は新制大学の第1回卒業式の行われた年でもありました。当時の「北光」は「復刊第1号」で発行所は東京北光会でした。現在のように発行所が秋田になったのは昭和31年発行の第6号からでした。昭和35年の第19号から「復刊」の文字が消えました。この19号では創立50周年の記念事業が検討されておりました。今年創立100周年を迎えるにあたり、北光会も歴史を積み重ねてきたものと感慨深くすると共に今後の発展を願う次第です。

さて、東日本大震災ですが、北光会として被災された会員に対し、どのような支援が出来るか検討致しました。一つは、学生に対する援助です。3月の卒業式後に行う新会員の歓迎会を今年は中止致しました。これにかかる費用は本来学生に使用するものであることから、これを被害を受けた

学生の援助金と致しました。100人余りの方がおり喜ばれたと聞いております。一方、会員に対してですが被害の状況は徐々に分かってきましたが詳しい状況を把握しておりません。「北光」4月号は被災地の会員に届かず約160通が戻ってきております。本号に被害の状況を報告頂くようお願いしてあります。この結果を踏まえて援助金の募金など具体的な対応を検討することで、総会の了承を得たところであります。

次に創立100周年の募金ですが、最初に多くの会員の皆様からご芳志を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

6月30日現在：4,274名（件）（分割件数612件を入れると4,886件）総額：1億8,698万円で、その内訳は

企 業：	244社	5,529万円
篤 志 家：	20名	150万円
教 職 員：	167名	1,042万円
学部後援会：	12回	2,922万円
北 光 会：	3,831名	9,055万円

となっております。募金目標額3億円に対する達成率は62.33%となっております。

一番遅れております企業募金ですが、この度の災害により企業訪問など積極的な募金活動を一時控えておりましたが、地震・津波被害については第1次補正予算が通り、復旧・復興に向けて動き出したこと、原発事故については収束に向けた工程表が発表されたことから役員に卒業生があられるなど、人間関係のある企業には募金活動を再開することにし、5月より始めております。

募金期間も残すところ2ヶ月となりました。北光会は目標額1億円でも9割を超えましたが、同一層のご支援をお願い致します。

例年通り「北光」8月号（本号）に趣意書を同封してあります。

創立100周年記念式典・祝賀会も近づいてまいりました。ご案内をご覧の上皆様の参加をお待ちしております。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。